

平成２６年度 第１回御殿場市市民協働型まちづくり推進協議会

日 時：平成２６年４月１８日（金）午後１時３０分～午後４時００分
場 所：市役所 第３会議室

出席委員：飯田章・篠川キミ・滝口美乃理・湯山有朋・渡邊恵子・

渡邊茂夫・日吉桂太・林久子・山崎喜三・砂山信行・

田代一樹・勝間田守正・井上史代・渡邊達也

アドバイザー：牛山教授

事務局：鈴木課長・鈴木

１ 開 会（１３：３０）

２ 会長あいさつ

３ 新任委員紹介

①課長より新任委員を紹介後、本人から一言ずつあいさつ

②教授の紹介後、教授よりあいさつ

③事務局の紹介

４ 協議事項について（進行：会長）

（１）平成２５年度協議会事業報告及び平成２５年度協議会収支決算について
（監査報告）

事務局より説明、承認。井上委員より監査報告。

（２）平成２６年度協議会事業計画（案）及び平成２６年度協議会収支予算（案）について
事務局より説明、承認。

《意見》

委員：昨年度報告にある市民協働研修会が今年度の事業計画にない。自分は昨年参加し、大変良かった。２６年度もぜひ検討してほしいが、できなけれ

ば27年度には計画してほしい。

事務局：昨年度も事業計画の段階では明記しなかった。今年も行う予定であるが、内容や時期について再検討している。固まったらぜひお願いしたい。

5 その他

事務局より説明

- ・次回開催予定（チラシ配布）

6月8日（日）午前9時30分～ 市民会館 第7会議室

平成26年度市民協働型まちづくり補助金事業公開提案会・選考会

- ・公開提案会の開始が9時30分なので、委員には審査説明のため9時ごろ集合してもらう予定。
- ・終日かかる
- ・現段階で10件ほどの相談があり、新規の団体もある。
- ・チラシを各支所や支援センターに配布し、応募を呼び掛けている。
- ・配布したのが完成した内規。一年間これで行い、柔軟に改正していければ。

《意見》

委員：申請事業の書類をあらかじめほしい。

事務局：ぎりぎりまで調整を行う団体もあるが、できるだけ対応したい。

→その後確認：審査対象書類（申請書類）そのものでなくてよいので、団体名・内容の概要（補助金の使い道）・協働相手等がわかる書類がほしい。

→1週間前位にまとめ送付する

委員：会議前の朝一の説明で、審査のポイント、集計した点の使い道、審査対象を明確にして説明してほしい。

事務局：すでに委員に渡っている書類にも審査方法やポイントは明記されているが、疑問点を少なくすべく重点的に説明したい。

6 閉 会（山崎副会長）（14：10）

引き続き、平成25年度補助金事業報告会へ（公開）

1 開 会（14：37）

2 平成25年度市民協働型まちづくり事業実施団体報告会

*団体発表→質疑応答×4

*「はじめの一步部門」については報告なし。

市民提案部門

①『地域ねこ活動事業』

団体：地域ねこ活動の会

《質疑応答》

委員：ねこの正しい飼い方等のPRも環境課と協働でできれば。

団体：昔はねこはネズミ取り要員として放し飼いされていたが、今は愛玩用なので家の中で飼いましょうとのPRを行っている。また、公民館掲示などでポスターによる啓発も行っている。

環境課：市にも日々苦情が寄せられている現状。チラシの配布などで理解を呼び掛けているが、声が全ての対象者に届いているわけではない。話を地域ぐるみの課題として汲み上げ、みんなで持ち上げてほしい。

委員：①手術したねこは見分けがつくのか②近隣市町では行われているのか。

団体：①耳にVカット。②行っている。ただ、当市は団体と行政の協働による上手い例として取材を受けたり、県でも取り上げられている。

環境課：地域が主導で行っている珍しい例でもある。地域でねこを管理し、命を全うしてもらうといった本来の趣旨に合致している。今後も団体と良好な関係を持続し、活動したい。

委員：資料の「ボランティア」とは団体を指すのか、地域住民を指すのか。

団体：「地域の方」という意味。

委員：報告の中で補助金交付決定前の4月から7月までは活動にブランクが生じてしまうという話があったが、寄付金等は制約がないので参考にして

ほしい。

②『今こそ“二宮金次郎”ルネッサンス』

団体：NPO 法人富士賛会議

《質疑応答》

団体：「まちづくり」の定義に関し、当初文化面は「まちづくり」として捉えていなかった。まちづくりをもっと広義に捉えてもよかった。定義がよくわからない。

委員：当初の段階で行政との話し合いや協働がうまくできていなかったのでは。今後はさらに協働を深め、当初の段階で問題が解決できるよう、その反省を今後につなげてほしい。

事務局：市民のために何ができるかを考え、専門性を活かしかつ低コストで行政と手を組んで事業を行っていただければと思う。事務局の説明不足もあり、ご迷惑をかけた。今後ともよろしくをお願いしたい。

③『富士山登下山者に向けてのおもてなし観光事業』

団体：NPO 富士山コミュニティ

《質疑応答》

委員：9日間という期間はどうか。

団体：今後は富士山の山開き期間である2か月間できればと思う。大学生が手伝ってくれるならできる可能性がある。

委員：ぜひ御殿場のPRとなるよう活動してほしい。

委員：場所さえよければ利用者が2倍・3倍となっていくのでは。

団体：今回やってみて気づいたことがたくさんある。今後は御殿場コンシェルジュを増やし、五輪までの間活動していきたい。

委員：JRとの関係はどうか。

団体：非常に喜んでくれ、コピーした時刻表を持ってきてくれるまでになった。実績ができ、商工観光課の働きかけも行ってもらっている。

④『見直そう御殿場の椿』

団体：御殿場椿の会

《質疑応答》

委員：行政側の意見を聞きたい。

都市計画課：団体の熱心さをすごく感じた。太郎冠者（市内にある椿の大木）

は昨年末に動き、移植が決定した。熱心さを感じているので、都市計画課としても協力したい。

3 閉 会（16：00）